## PRESS RELEASE



令和3年7月19日 愛媛大学

## 「愛媛大学ダイバーシティ推進ステートメント」を策定 ~ダイバーシティをさらに推進~

このたび、愛媛大学のダイバーシティをさらに推進するために、「愛媛大学ダイバーシティ推進ステートメント」を、女性大臣の日である本日、策定しました。

大きな変革の時である今の時代においてこそ、「誰一人、取り残さない」社会を 実現するために、多様な人材、組織が連携して問題解決に当たる「ダイバーシティ」の視点が重要です。

愛媛大学は「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学」を創造することを 理念としており、世界標準のダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(受 容し活かすこと)への理解と環境の整備を目指します。

また、愛媛大学は、すべての人々の人権保障と次世代のためのより良い新たな 社会の創造のため、性別、年齢、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認、人種、 民族、文化、宗教などの違いにかかわらず、互いを尊重し協働しあえる場を提供 し、地域に根ざしながら地球規模での多様な問題解決にあたる知の拠点を目指し ます。

そのために、さまざまな取組みによってダイバーシティをより一層推進し、構成員一人一人が個性を輝かせ、能力を発揮できる大学となることを宣言します。

「愛媛大学ダイバーシティ推進ステートメント」は、別紙のとおりです。 是非、取材くださいますようお願いいたします。

※送付資料3枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先 愛媛大学副学長(ダイバーシティ)

堀 利栄

TEL:089-927-9644

Mail:hori.rie.mm@ehime-u.ac.jp

世界は、今、大きな変革の時を迎えています。感染症の蔓延、地震や洪水など頻発する大規模自然災害、日本においては少子高齢化による人口減少など、持続可能な発展のために解決すべき多くの困難な問題を抱えています。このような時代においてこそ、「誰一人、取り残さない」社会を実現するために、多様な人材、組織が連携して問題解決に当たる「ダイバーシティ」の視点が重要です。多様な人材によって構成されている組織は、刻々と変化する社会環境に対しても、柔軟、かつ、迅速に対応することができます。また、構成員が個々の能力をそれぞれの場面で発揮していけば、構成員自らも達成感が得られ、組織全体のパフォーマンスも飛躍的に向上します。愛媛大学は「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学」を創造することを理念としており、そのためには、世界標準のダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(受容し活かすこと)への理解と環境の整備を目指します。

今回のコロナ禍により、私たちは、地域の住民であると同時に世界の一員であることを改めて自覚させられました。また、多様化する社会と急変する環境に対し、すべての人々の力を結集し、臨機応変に対応する必要性も認識させられました。今後、少子化、長寿命化、働き方の多様化などによって、私たちは、学びと仕事を往還する「新たな生き方」を探索する必要があります。それゆえ、「地域における知の拠点」である大学には、これまで以上にさまざまな機能を有することが求められてきます。このような機能の多様性への期待に応えるためにも、それぞれ個性的な知識、思考力、行動力をもつ構成員がお互いの違いを尊重し合い、協働することが必要です。

愛媛大学は、すべての人々の人権保障と次世代のためのより良い新たな社会の創造のため、性別、年齢、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認、人種、民族、文化、宗教などの違いにかかわらず、互いを尊重し協働しあえる場を提供し、地域に根ざしながら地球規模での多様な問題解決にあたる知の拠点を目指します。そのために、さまざまな取組みによってダイバーシティをより一層推進し、構成員一人一人が個性を輝かせ、能力を発揮できる大学となることを宣言します。

2021年(令和3年)7月19日 愛媛大学長 仁科 弘重 The world is going through a time of great change. We are faced with many difficult issues that need to be solved for sustainable development, such as the spread of infectious diseases, frequent large-scale natural disasters such as earthquakes and floods, and in Japan, a declining population due to a low birthrate and aging society. To realize a society where "no one is left behind," the perspective of "diversity," in which diverse human resources and organizations work together to solve problems, is crucial in these times. An organization made up of diverse human resources can respond flexibly and quickly to the ever-changing social environment. If the members of the organization can demonstrate their abilities in each situation, the members themselves will feel a sense of accomplishment, leading to a dramatic improvement in the performance of the entire organization. Based on our philosophy of becoming "a university that leads our region and connects it to the world with striking originality," we aim to promote understanding and create an environment for diversity and inclusion as a global standard.

The coronavirus pandemic has reminded us that we are not only residents of the region but also members of the world. It has also made us aware of the need to mobilize the power of all people and respond flexibly to a diversifying society and rapidly changing environment. As the birthrate declines, life expectancy increases, and work styles become more diversified, we will need to search for "new ways of life" that combine learning and work. Therefore, the university, as a "center of knowledge in the region," is required to have more diverse functions than ever before. In order to meet the expectations of such a diversity of functions, it is necessary for the members of the university, each of whom has unique knowledge and ability to think and act, to respect each other's differences and work together.

Ehime University aims to provide a place where people can respect and collaborate with each other regardless of gender, age, nationality, disability, sexual orientation, gender identity, race, ethnicity, culture, religion, in order to guarantee the human rights of all people and create a better society for future generations. We also aim to become a center of knowledge for solving diverse global issues while remaining rooted in the local community. To this end, we will further promote diversity through a variety of initiatives, and state that the university wants to be a place where each member can shine with individuality and demonstrate their abilities.

July 19, 2021 NISHINA Hiroshige President of Ehime University